

# 令和6年度学長裁量経費採択課題（詳細内容）

## 教職実践力向上重点研究費

公募分野	代表者		テーマ
2	社会科教育講座	保立 雅紀	中日新聞社との連携によるNIE推進研究
<b>プロジェクト概要</b>		<p>中日新聞社との連携協定（2017年）の連携事項（1）NIE（「教育に新聞を」）に関する教育及び調査研究等の推進に基づき、近年のNIE実践動向を調査し、それにもとづいて公開講座「親子で作ろう！夏休みニュース新聞」及び市民リテラシー「新聞から学ぶメディアリテラシー」の成果をチェックし、次年度以降の改善計画を作成する。</p>	
<b>研究の目的</b>		<p>中日新聞社との連携協定（2017年）の連携事項（1）NIE（「教育に新聞を」）に関する教育及び調査研究等の推進に基づき、近年のNIE実践動向を調査し、それにもとづいて公開講座「新聞切り抜きで育てる探究心」及び市民リテラシー「新聞から学ぶメディアリテラシー」の成果をチェックする。</p>	
<b>研究の方法</b>		<p><b>【前期】</b>            日本新聞協会NIE全国大会での実践動向に関する調査（8月）            公開講座「新聞切り抜きで育てる探究心」の協働企画及び実施と成果分析（8月）            中間成果の取りまとめ（9月）</p> <p><b>【後期】</b>            市民リテラシー「新聞から学ぶメディアリテラシー」の共同企画・実施と成果分析（10月～1月）            日本NIE学会全国大会での実践研究に関する調査及び外部評価（12月）            成果の取りまとめ（1月）</p>	

## 研究の成果

中日新聞社との協定による共同事業は、成果を踏まえて新しい社会変化へ対応することが必要となっている。特に、これまで担当してきた教員が退職する中で、本学スタッフが継続的に連携するうえで、今後の発展的関係形成が課題である。本経費による授業改善によって、同社と本学ともにその連携を継続することの重要性を確認することができた。市民リテラシーの授業においては、新聞の実名報道の是非について、受講者が、新聞社側の見解と本学法律担当教員の見解の二つの視点から考察・対話する授業を企画・実践した。大塚英理子講師が連携授業に加わることで得た成果である。また、連携授業を始め、同社の協力による学生による新聞切り抜き作品作りなどのNIE実践は、新聞はじめ情報・メディアリテラシーに関心を持つ学生を増加させた。さらに同社との協働による新しい公開講座を実施することもできた。このような成果は、愛知県NIE推進協議会における情報発信等によりNIE実践指定校及び県内各教育委員会へ情報提供を行った。次年度の市民リテラシー授業等でも成果を還元する。公開講座は、本学中期計画「メディア授業の設定科目の多様化推進と、担当教員による授業適正化（中期計画指標11-2）」とかかわるとともに、外国にルーツを持つ子どもたちとのNIE実践も視野にあり、「教育委員会、地方自治体、NPO法人等と連携し、学校や地域で外国人児童生徒等の支援を担当する教員・支援員に対し研修等を行う」（中期目標1-1No.2）と関連する。これは、未来共創プラン目標1グローバル化に対応したプログラムを推進する成果となる。